

【緑地を楽しむ本】

『大津波のあとの生きものたち』

永幡嘉之 著 少年写真新聞社



以前、〇さんが紹介してくださった『原発事故で、生きものたちに何が起きたか。』と同じ作者です。

震災後、毎年、現地の海辺をおとずれ、自然の変化を記録してゆきます。津波にさらわれ、何もなくなった海岸に、少しずつ植物や、昆虫が戻ってくる様子がよくわかり、感動的でもあります。さらに、土の中深くに休眠していた種が大津波で掘り起こされて地表に現れ、美しい花を咲かせるのを

見ると、不謹慎だとは思いますが、自然の大きなサイクルのようなものを感じずにはられません。

しかし、「復興」の名のもとに人間優先の工事がすすみます。生い茂った植物、美しい花はあとかたもなく整備されてしまいます。現地で暮らしていない者のたわごとかもしれませんが、何か別の方法はないのか、と考えさせられます。

(遠藤)